

まちづくり交付金 事後評価シート
牛久市中心市街地地区

平成21年12月

茨城県牛久市

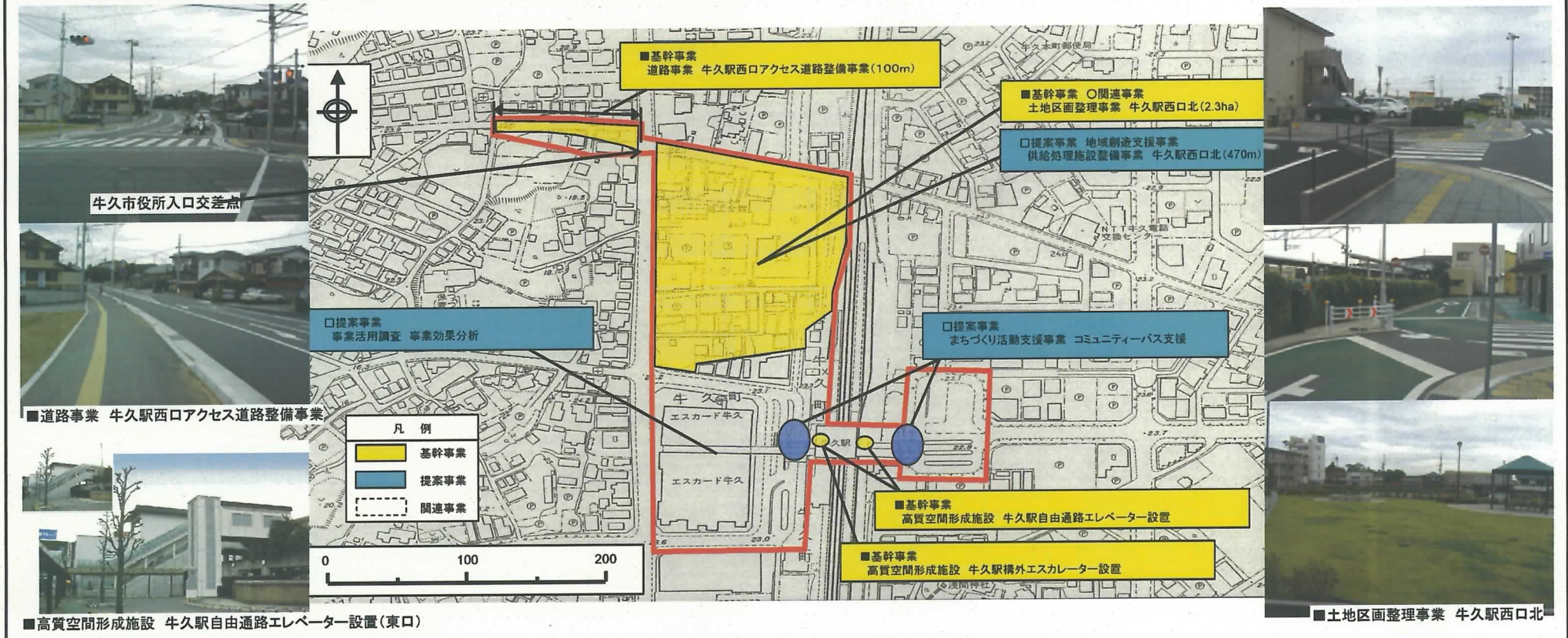
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 茨城県 | 市町村名 | 牛久市 | 地区名 | 牛久市中心市街地地区 | | | 面積 | 5.5ha | | | |
|---------------------------------------|--|-----------|---|----------|--------------------------|--------------------------|------------------------|----------|----------|---|---|--------|
| 交付期間 | 平成17年度～平成21年度 | 事後評価実施時期 | 平成21年度 | 交付対象事業費 | 1,177百万円 | 国費率 | 0.399 | | | | | |
| 1) 事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | | 事業名 | | | | | | | | | |
| | 基幹事業 | | (道路)牛久駅西口アクセス道路、(高質空間形成施設)牛久駅自由通路エレベーター、(土地区画整理事業)牛久駅西口北 | | | | | | | | | |
| | 提案事業 | | (地域創造支援事業)供給施設処理整備事業、(まちづくり活動推進事業)コミュニティバス支援 | | | | | | | | | |
| | | | 事業名 | 削除/追加の理由 | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | | 基幹事業 | なし | | | | | | | | |
| | | | 提案事業 | なし | | | | | | | | |
| 新たに追加した事業 | | 基幹事業 | (高質空間形成施設)牛久駅構外エスカレーター | | | 地元の強い要望と公共交通バリアフリーの推進のため | | 影響は軽微である | | | | |
| | | 提案事業 | (事業活用調査)事業効果分析 | | | 事業効果分析の調査費 | | 影響なし | | | | |
| 交付期間の変更 | | 当初 | 平成17年度～平成21年度 | | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | - | | | | | |
| | | 変更 | なし | | | | | | | | | |
| 2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | フォローアップ | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度 | 達成見込み | (総合所見) | 予定時期 | |
| | 指標1 | 区画整理区域内人口 | 人 | 300 | H16 | 600 | H21 | 281 | × | あり なし | ● 昨今の経済状況の低迷により、まだ利用がされていない土地が多く存在しているため、目標値が達成できなかった。 | H22.4末 |
| | 指標2 | 狭隘道路の解消 | m | 550 | H16 | 0 | H21 | 0 | ○ | あり なし | 土地区画整理事業等により狭隘道路が解消した。また牛久駅のエレベーター等の設置により、駅へのアクセス性が向上した。 | なし |
| | 指標3 | 消防困難地域 | ㎡ | 3,850 | H16 | 0 | H21 | 0 | ○ | あり なし | 土地区画整理事業が予定通り進捗し、消防困難地域が解消された。 | なし |
| | 指標4 | | | | | | | | | あり なし | | |
| 3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | フォローアップ | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | 達成度※1 | 達成見込み | (総合所見) | 予定時期 | |
| | その他の数値指標1 | 交差点車両通過台数 | 台/時 | 96 | H20 | | 152 | | | 幅員拡幅および交差点形状の改良により、交差点の滞留車両が減少し、交差点通過台数が増え、交通量が増えた。 | なし | |
| | その他の数値指標2 | | | | | | | | | | | |
| その他の数値指標3 | | | | | | | | | | | | |
| 4) 定性的な効果発現状況 | ○西口アクセス道路の整備により、牛久市役所入口交差点の形状が整形化し、直進時の交差点内滞留等がなくなった。そのため、これまで迂回していた車もこの交差点を利用するようになり、時間損失の短縮につながった。 ○都市基盤整備により、交通網が円滑化するとともに、当該地区の有効な土地利用が可能になって良かった、という地元の満足のご意見をいただいた。 | | | | | | | | | | | |
| 5) 実施過程の評価 | 実施内容 | | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | |
| | モニタリング | なし | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | |
| | 住民参加プロセス | なし | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | なし | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | | | | |

様式2-2 地区の概要

牛久市中心市街地地区(茨城県牛久市) まちづくり交付金の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | | |
|---|------------|--------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 従前値 | 目標値 | 従前値 | 目標値 | 従前値 | 目標値 | |
| 開発型まちづくりから修復型まちづくりへと移行する中で、都市の活力を増進し、市民生活の利便性の向上を図るためには、都市基盤の再生、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進し、既成市街地における住環境の再生を進める必要がある。本地区は市内2駅のうち牛久駅の直近であり、本市の都市拠点の一角であることから、市街地開発事業等による密集市街地の改善、交通利便性の向上、また、都市計画の向上、潤い空間の創出など、一体的・総合的に進めることによって中心市街地の活性化を図り、地区の活力を取り戻し都市拠点の再生を図るものである。 | 区画整理区域内人口 | 単位：人 | 300 | H16 | 600 | H21 | 281 | H21 |
| | 狭隘道路の解消 | 単位：m | 550 | H16 | 0 | H21 | 0 | H21 |
| | 消防困難地域 | 単位：㎡ | 3,850 | H16 | 0 | H21 | 0 | H21 |
| | 交差点車両通過台数 | 単位：台/時 | 96 | H20 | - | - | 152 | H21 |



| | |
|---------------------|--|
| まちの課題の変化 | <ul style="list-style-type: none"> ○従前には狭小な既存道路での不便性、歩道未設置による歩行者等の危険性、隣接するロータリーの慢性的な渋滞などの課題があったが、まちづくり交付金事業によりすべての課題が達成された。 ○都心型の商業振興及び都心性の高い居住空間形成という課題があり、まちづくり交付金事業(特に土地区画整理事業)により居住空間の基盤整備は完成したが、土地区画整理事業区域の土地利用の増進、人口の定着が今後の課題として残っている。 |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | <ul style="list-style-type: none"> ○道路等都市基盤の適切な維持管理を進める ○駅東口で取り組まれている牛久市中央地区都市デザイン会議と連携して、本地区のまちづくりの機運を高める ○土地区画整理事業区域内の市所有地(低未利用地)の利用促進のために、駅東口で取り組まれている牛久市中央地区都市デザイン会議の駅活用ワークショップにより、土地利用方針を検討する。 |